



こ こ
や っ ぱ り 草 津 が い い

令和3年度施政方針

7～11ページ

2月定例市議会で、
市長が令和3年度の施政方針を述べました。
その概要をお知らせします。

問 財政課(3階) ☎561-2304、FAX561-2483



令和3年度は、第6次総合計画のスタートの年であり、第5次総合計画において、市の総合政策として進めてきました「健康都市」を、新たな総合計画の将来ビジョンに据え、「ひと・まち・ときをつなぐ絆をつむぐ・ふるさと 健康創造都市 草津」の実現に向けた船出の年となります。

第6次総合計画の12年間の期間中には、現在、一部の郊外部で始まっている人口減少が、全市的にやってきました。今後の人口減少や少子高齢化に伴う税収の減少や、社会保障関係経費の増大など、中長期を見据え、ウイズコロナ、アフターコロナ社会を俯瞰し、社会経済情勢の変化を注視しながら、総合力を持って、施策・事業を押し進めます。



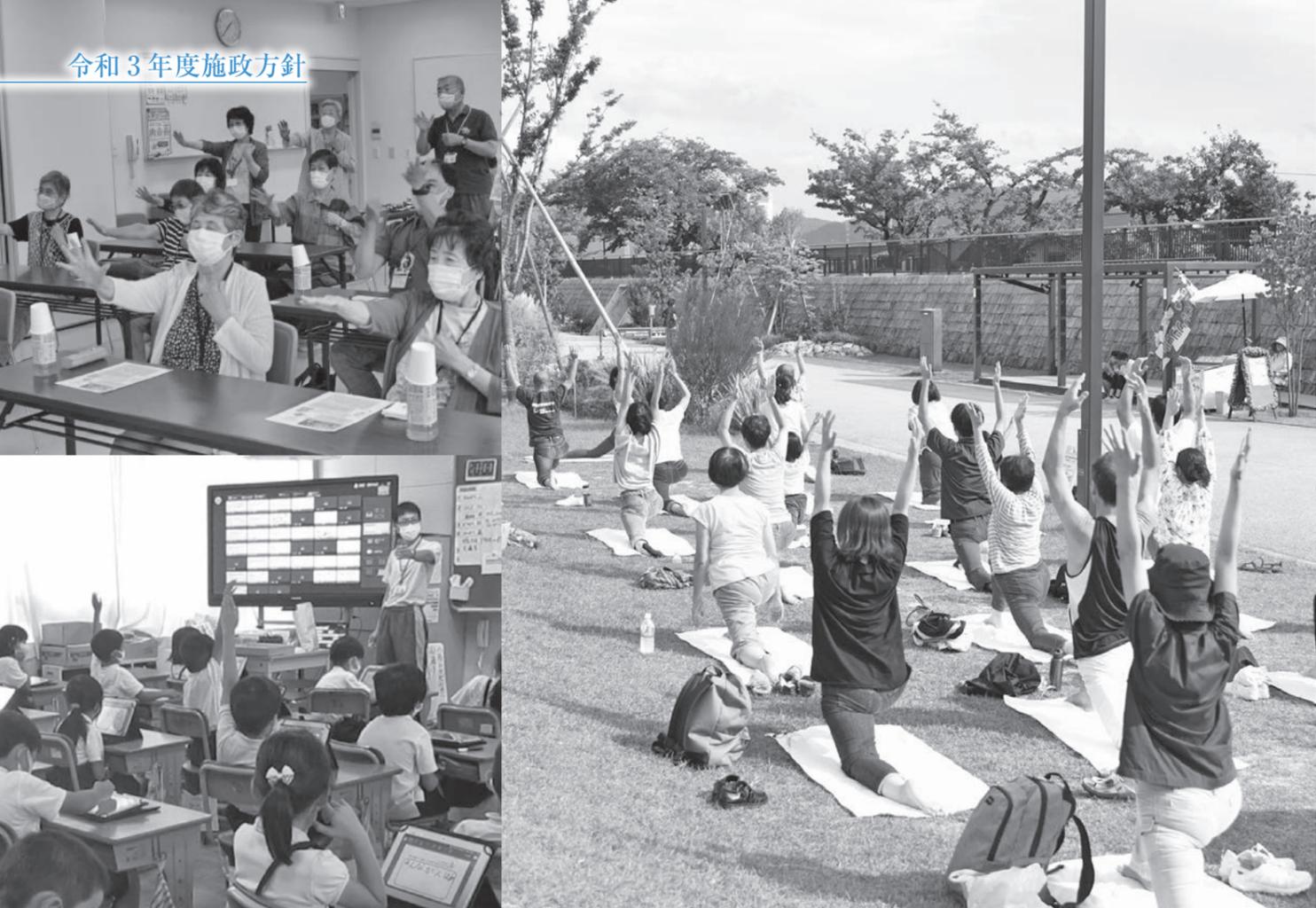
「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ・ふるさと 健康創造都市 草津」の実現に向けて

第6次総合計画に掲げる、まちづくりの基本目標に基づくリーディング・プロジェクトを中心に、人と人がつながり、人から地域、まちへと広がり、絆をつむぐことで、草津に愛着と誇りが生まれ、子どもから高齢期まで老若男女を問わず、全ての市民の皆様が健やかに、そして幸せに暮らすことができるよう、「ずっとずっと住み続けたいまち草津」の実現に向けた取り組みを、着実に実施していきます。

税収入の減少とウイズコロナ社会への対応という、これまで経験したことのない状況下での予算編成となりましたが、「第6次総合計画」に掲げる「健康創造都市 草津」の実現に向けて、「第1期基本計画」の4つのリーディング・プロジェクトを念頭に置きながら、戦略的な財源配分を行いました。

4つのリーディング・プロジェクト

- 1 「未来を担う子ども育成プロジェクト」
- 2 「地域の支え合い推進プロジェクト」
- 3 「にぎわい・再生プロジェクト」
- 4 「暮らしの安全・安心向上プロジェクト」



令和3年度当初予算



「第6次草津市総合計画第1期基本計画」のリーディング・プロジェクト事業を推進するため、財源を戦略的に配分しました。新規事業や拡大事業を中心に、概要を紹介します。

各会計予算規模

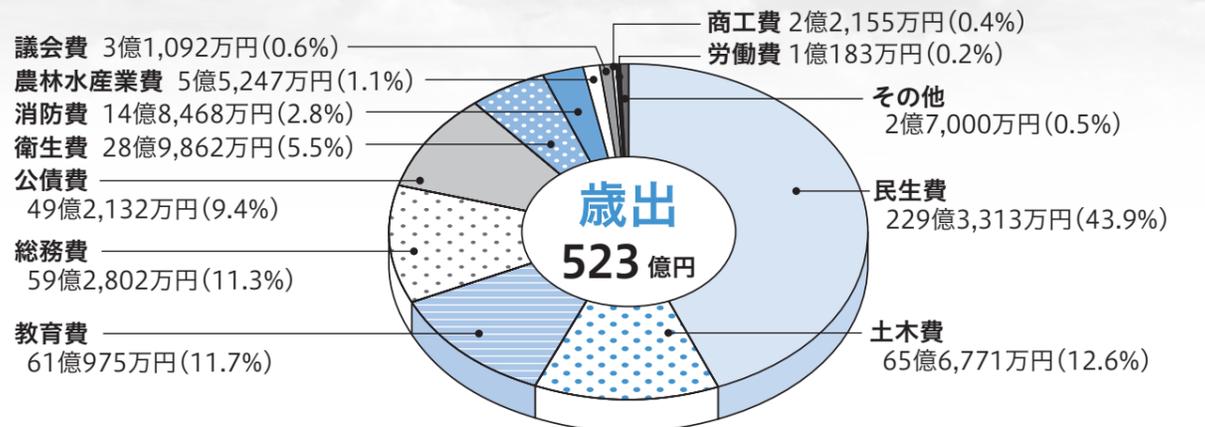
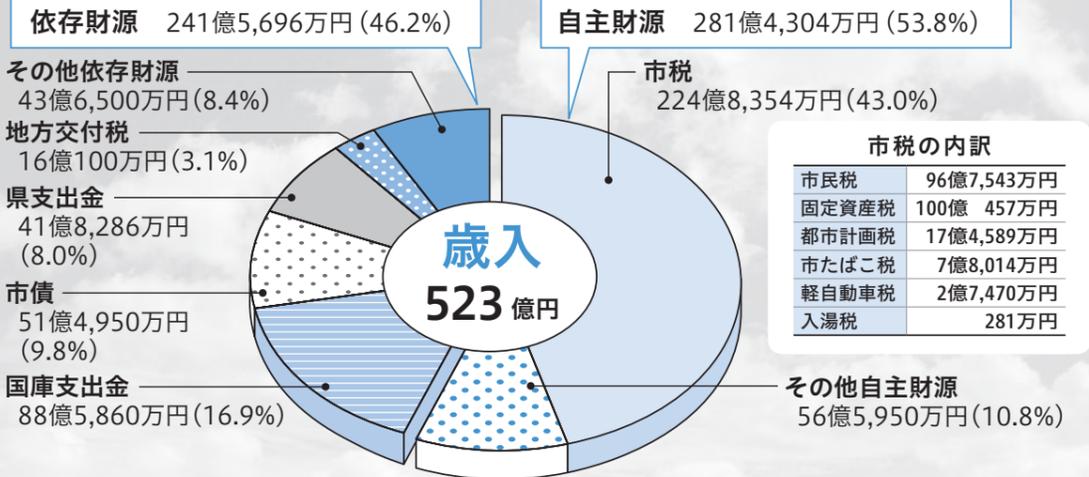
項目	予算額
一般会計	523億円 前年度比2.4%減
特別会計	331億6,210万円
合計	854億6,210万円

一般会計

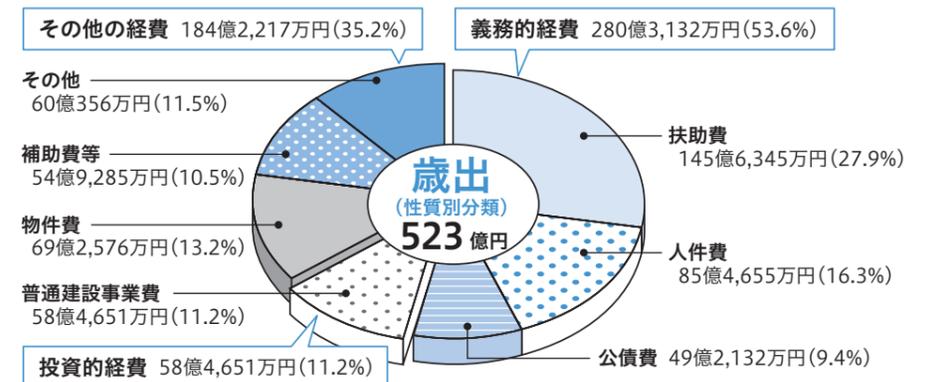
行政の基本的な経費を市税などを主な財源として経理する会計

特別会計

特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計



歳出の性質別分類



未来を担う子ども育成プロジェクト

新規 養育費確保推進費 44万円

子どもの養育費の取り決めに推進するため、公正証書などの作成に必要な費用を支援します。

拡大 民設児童育成クラブ 施設整備費補助金 750万円

多様な保育需要に対応するため、民設民営の放課後児童育成クラブの施設整備を支援し、定員不足の解消に努めます。

拡大 認定こども園整備費 (矢倉・常盤) 4億2,758万円

質の高い幼児教育と保育の一体的な提供を行うため、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設整備に取り組みます。

拡大 学校ICT環境充実費 1億2,964万円

デジタル教科書の活用を見据え、ネットワーク環境を整備し、1人1台端末をはじめとするICT教育

拡大 (仮称)草津市第二学校給食センター整備費・運営費 12億8,456万円

育環境を効果的に活用して、確かな学力の育成を図ります。

拡大 (仮称)草津市第二学校給食センター整備費・運営費 12億8,456万円

「(仮称)草津市第二学校給食センター」を整備し、令和3年度3学期から給食センター方式による中学校給食の提供を開始します。

その他の事業

新規 不登校支援フリースクール利用助成費 192万円

拡大 多胎児家庭ホームヘルパー派遣費 241万円

拡大 病児・病後児保育運営費 3,441万円

拡大 特定不妊治療助成費 1,836万円

地域の支え合い推進プロジェクト

新規 市民総合交流センター
管理運営費
8,331万円

既存の公共施設を集約し、新たに男女共同参画、子育て支援、市民交流のための機能などを備え、さまざまな活動団体が入居する公民の複合施設「キラリ草津」を運営します。



引き続き、市の総合政策として推進します。

令和3年度は健康イベントの開催や健康ステーションの拡大、広報・啓発を行います。

継続 くさつランフェスティバル
開催費補助金
200万円

「健康都市くさつランフェスティバル」(令和3年秋開催予定)を通じて、市民のスポーツ健康づくりの推進や、草津川跡地公園における新たなにぎわい創出に取り組みます。

継続 認知症施策推進費
221万円

拡大 健康都市づくり推進費
200万円

住む人や訪れる人が「健康」を感じることができ、まちそのものが「健康」であり続けられるよう、

「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」と「草津市認知症施策アクション・プラン第3期計画」に基づき、各種認知症施策を実施し、認知症があっても安心して暮らし続けることができるまちの実現をめざします。

にぎわい・再生プロジェクト

新規 観光物産協会法人化推進費
1,135万円

観光物産協会では、地域への経済波及効果が幅広く浸透する事業が実施できるよう、機能・組織体制の強化に取り組んでいます。

令和3年度は、観光物産協会を法人化し、その初期費用を支援することで、設立・初動期における運営の安定化を図ります。

新規 まめバス実証運行費
880万円

バス交通空白地・不便地の解消や公共施設への移動手段を確保するため、新規路線としてJR草津駅西口から下笠方面までを運行するコミュニティバス「まめバス」の実証運行を行います。

新規 草津川ハイライン事業費
380万円

「草津川跡地公園de愛ひろば」と、JR西日本京都支社の「梅小路ハイライン」は、共にアメリカのニューヨークにある「ハイライン」をモデルに整備しました。両施設

継続 (仮称)草津市立プール整備費
17億5,754万円

令和7年に開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、大会後においても、「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、



(仮称)草津市立プールの整備を進めます。今年度は、造成工事や施設の設計を実施します。

新規 創業支援補助金
110万円
など

その他の事業

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

新規 新火葬場整備費
5,461万円

市営火葬場の老朽化と、今後の火葬能力不足を解消するため、令和9年度の供用開始をめざし、栗東市との広域連携により、新たな施設の整備を行います。

新規 環境基本計画重点事業推進費
302万円

第3次草津市環境基本計画の策定ポイントである「環境・経済・社会の統合的な向上」、「持続可能な地域資源の活用」、「多様な主体との協働」に基づいた重点事業として、「いきもの自然学校」、「地域資源健康ララー」、「環境イノベーション」を実施します。

新規 ロクハ浄水場浸水対策費
4,903万円

ロクハ浄水場および関係施設のうち、浸水が想定される区域に位置している施設の浸水対策を行うことにより、災害に強いライフラインを確保し、市民への水道水の安定供給を図ります。



継続 緊急浚渫推進事業費
800万円

全国で河川氾濫などの大規模な浸水被害が相次ぐなか、市内で緊急的に実施する必要がある河川などについて、浚渫・樹木伐採などを計画的に実施します。

行財政
マネジメント

拡大 働き方改革推進費
1,502万円

AI(※1)やRPA(※2)などの新技術の活用による業務の効率化や、職員の業務負担の軽減を図るとともに、在宅勤務(テレワーク)をはじめとする多様な働き方を推進します。

拡大 ICT等利活用推進費
971万円

「くらしの手続きガイド」や「電子申請システム」の本格導入を行うとともに、「(仮称)琵琶湖オープンデータ構想の実現」に向けた研究を県や近隣市と共同で進めます。

また、草津市情報化推進計画(令和2~6年度)に基づき、チャットボット(※3)の本格導入や、電子決裁システム導入の検討を行うことにより、デジタル時代を見据えた取り組みを推進します。

新型コロナウイルス
感染症対策事業

コロナの発症予防・まん延防止や、経済的に影響を受けた人への住居・就労などの支援、児童福祉施設などの事業継続や学校教育活動の円滑な運営などを目的に実施します。

新規 新型コロナウイルスワクチン接種事業費
(令和2年度補正予算)
1億3,785万円

継続 住居確保給付金給付費
1,799万円

継続 児童福祉施設等における感染症対策事業費
6,792万円

継続 学校における感染症対策事業費
1,075万円

